

高岡市立高陵中学校 3 年生との交流学習

令和 8 年 9 月 14 日（月）午後、2 年探究科学科生徒 18 名が高陵中学校に行き、現在高陵中 3 年生が取り組んでいる探究的な学習に対して、高校生の視点から、アドバイスをしてみました。各クラスに 6 人ずつ分かれて入り、班ごとに、研究内容や進捗状況、現在困っていることな

【 参加生徒の感想 】

- ・中学生の研究は、思っていた以上に探究として成り立っていて、仮説を繰り返し設定したり多角的に捉えてフィールドワークからつなげた研究ができていたりして驚いた。
- ・抽象的な話題から取り組んでいる班が多かったが、そのような話題から高岡市などといった身近な場所の課題を発見していて、独自性がありかつ豊かな発想が発揮されていて、非常に感心した。
- ・中学生との交流では、どの班でも積極的に質問してくれて、お互い楽しい雰囲気です充実した時間を過ごすことができた。見せてもらったスライドはどれも完成度が高く、工夫をこらしたフィールドワークなども行っていて、自分も学ぶことが多くあった。今回の経験は中学生、高校生ともお互い頑張ろうと思える良い機会だったと思う。
- ・中学生に助言をすることで、自分の中での探究活動への取り組み方や、考え方の姿勢がブラッシュアップされた。
- ・個人で考えたものをどのようにまとめるかに苦戦している班もあり、どのようにアドバイスをすべきか悩む場面もあった。
- ・各自のテーマについて、「提案」でこの活動が終わるのはもったいなく感じた。実践・評価をしてワンサイクルだと思う。提案で終わらず、実践できる環境を展開してほしい。
- ・高校生になってから中学生と関わる機会はあまり無かったため、新鮮な気持ちで刺激的な時間だった。中学生とは思えないくらい立派な発表もあり、自分も頑張ろうと思えた。興味がある人がいれば三校合同発表会に来てほしいと思ったし、探究の魅力に気づき、探究科学科に入学してほしいと思った。
- ・自分たちの町の課題という文系的な難しいテーマだったが、一人一人が考えをもって伝えてくれて、頑張っている姿が感じられた。データの扱い方や数値の重要性、研究の手順や進め方など、自分も不慣れながらも教えることができた。理数の課題研究は、ずっと実験してデータと向き合っていることが多いが、今回のように考えを共有して意見を交わすことで、研究に向き合う姿勢について考える良い機会になった。

